

9 月 28 日 年間第 26 主日

真の僕たち

マタイによる福音書 21 章 28 ～ 32 節

²⁸「ところで、あなたたちはどう思うか。ある人に息子が二人いたが、彼は兄のところへ行き、『子よ、今日、ぶどう園へ行って働きなさい』と言った。²⁹兄は『いやです』と答えたが、後で考え直して出かけた。³⁰弟のところへも行って、同じことを言うと、弟は『お父さん、承知しました』と答えたが、出かけなかった。³¹この二人のうち、どちらが父親の望みどおりにしたか。」彼らが「兄の方です」と言うと、イエスは言われた。「はっきり言うておく。徴税人や娼婦たちの方が、あなたたちより先に神の国に入るだろう。³²なぜなら、ヨハネが来て義の道を示したのに、あなたたちは彼を信ぜず、徴税人や娼婦たちは信じたからだ。あなたたちはそれを見ても、後で考え直して彼を信じようとしなかった。」

他の朗読：エゼキエル 18:25 ～ 28 詩編 25:4 ～ 9 フィリピ 2:1 ～ 11

Lectio … 読む

今日のたとえ話の理解を助けるには、この章の前までの部分を振り返ってみる必要があります。マタイによる福音書 21 章は、イエスが英雄的にエルサレムに迎え入れられるところから始まります。ある人々は、イエスのことを「ダビデの子」、即ち長いこと待ち望まれたメシアだと宣言していました。イエスは、それから両替人の台を倒し、神殿のお金をまき散らし、商売をしている人々を追いつぶすなどの大混乱を引き起こします。

祭司長や長老たちが、何の権威でイエスがこのようなことをしているのか知りたいと思うのも驚くことではありません (23 節)。イエスは彼らに洗礼者ヨハネについての含みのある質問をします。それで彼らはまごついてしまいます (25 ～ 27 節)。

イエスは、彼らに 2 人の息子のたとえ話をすることによって、宗教指導者たちに言いたいことを補足します。父が年長の息子にぶどう園に行き働かせるように言いますが、その息子は拒否しますが、後で考え直して出かけてきます。もう 1 人の息子は最初承知しますが、行動は言葉と一致せず結局彼は出かけてきませんでした。宗教指導者たちは、父の望むことを実際にしたのは兄の方であるという結論に導かれます。

イエスはそれから、兄にあたるのは徴税人や娼婦たちであることを明らかにします。彼らは最初、神に仕えるようにとの神の呼びかけを拒否しますが、それから考え直してヨハネのメッセージを受け入れます。イエスの教えを受け入れて悔い改め、御国の生活を始めます。

衝撃的な結論は、宗教指導者たちは、事実もう 1 人の息子のように振舞っているというものです。彼らは外面上は宗教的に見えますが、神の御旨を行っていません。彼らは神のメッセージを拒絶しているのです。彼らは洗礼者ヨハネを拒絶し、今や彼ら自身のメシアを拒絶しているのです。

Meditatio … 黙想する

このたとえ話は、私たちと神との関係について確認するための機会を与えてくれています。もし私たちが最初に「はい」と言ったとしても、私たちは神に従い続けているのでしょうか。単に神に仕えているという外見をつくらっているだけで、本当は自分たちのしたいようにしてはいないのでしょうか。あなたの人生のこの時に、神はあなたにどのように仕えて欲しいのかよく考えてみましょう。神の呼びかけにあなたはどのように応えていますか。

神の恵みと他者に対する私たちの態度についての今日のたとえ話から、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

Oratio … 祈る

あなた自身の言葉で神に伝えてみましょう。詩編 25 編 5、9～10 節から次の御言葉が祈りの助けになるかも知れません。

「あなたのまことにわたしを導いてください。

教えて下さい

あなたはわたしを救って下さる神。

絶えることなくあなたに望みをおいています。」(5 節)

「裁きをして貧しい人を導き

主の道を貧しい人に教えてくださいます。

その契約と定めを守る人にとって

主の道はすべて、慈しみとまこと。」(9、10 節)

Contemplatio … 観想する

フィリピ 2 章 1～11 節を読んでみましょう。5～11 節のイエスの謙遜と偉大さの素晴らしい記述について黙想してみましょう。そしてパウロの次の忠告に伝えてみましょう。

「何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」(3、4 節)